

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」 「次代を担うがん研究者・医療人養成プラン」

概要

本事業は、平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」で選定された京都大学、三重大学、滋賀医科大学、大阪医科大学、京都薬科大学における「次代を担うがん研究者・医療人養成プラン」に関する取組です。このプランにおいては先端がん研究者の養成と地域がん医療に貢献するがん専門医療人の養成に重点を置き、前者では次代のがん研究、がん診療のイノベーションを担う人材、新規診断法や治療法、ケア法を開発できる人材を養成し、後者では地域のがん診療拠点と連携して、腫瘍内科医、腫瘍外科医、放射線治療医、乳腺専門医、婦人科腫瘍専門医、緩和医療医、がん専門薬剤師、がん専門看護師を養成します。先端研究施設、がんセンター等での分野横断的研究、集学的研究、腫瘍薬学研究等の基盤を整備、同時に集学的医療、全人的医療プログラムの充実、がん教育の推進、5大学間の人材交流を図り、人材養成とがん医療の発展を目指すものです。

目的・必要性

本事業の全体の目的は、各大学が蓄積するがん研究者およびがん専門医療人の養成基盤をさらに充実させながら、大学院コースにおける基礎研究能力、臨床研究能力の向上、がん専門医療人教育プログラムの多様化と拡充、地域がん診療拠点病院などとの連携強化ならびに問題点の改善を図り、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの目的である「次代のがん研究、がん診療を担う人材の養成」に資するため、中長期的視野に立って教育基盤の整備を行うことです。今後のがん医療の発展には腫瘍学を深く理解し、斬新な発想で画期的な医療技術や診断治療法を開発できる人材が欠かせませんが、そのためには高度な基礎研究能力、学際的研究能力を備えた先端研究者を養成することが求められています。具体的には、手術、放射線治療の領域では新しい治療機器や治療方法の開発、薬物療法、婦人科がんの領域では新規医薬品、バイオマーカーの開発、臨床腫瘍薬学分野ではトランスレーショナルリサーチの推進、がん専門薬剤師には国際試験、臨床研究の実施、医学物理学分野では高精度放射線治療の実施、推進と次世代型の放射線治療システムの開発、がんリハビリテーションの領域では臨床エビデンスの創生が必要とされており、これらを担う人材の養成が求められています。

地域がん医療貢献に関しては、集学的医療、全人的医療を実践する優れた腫瘍内科医、放射線治療医、緩和医療医の養成が急務であり、疾病頻度の急激な増加に伴い乳腺専門医や婦人科腫瘍専門医の養成は社会的な要請であります。化学療法、支持療法、緩和療法、チーム医療を高度に展開できるがん専門薬剤師、がん専門看護師の養成も重要課題であります。さらに、国際的視野をもったがん専門医療人が不足しており、その養成も強く望まれています。京都大学、京都薬科大学は、がん研究者の養成に、三重大学、滋賀医科大学、大阪医科大学は地域がん医療に貢献するがん専門医療人の養成により重きをおきますが、互いに連携協力して人材養成、がん医療の発展に努めます。

また、平成19年度からの「がんプロフェッショナル養成プラン」において実施した「高度がん医療を先導する人材養成拠点の形成プログラム」における取組の充実・発展を図り、本取組を「次代を担うがん研究者・医療人養成プラン」として拡充することにより、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの目的である「次世代のがん研究、がん診療における人材養成」の基盤強化を図ることが、本補助事業の目的であります。

連携する大学

京都大学・三重大学・滋賀医科大学・大阪医科大学・京都薬科大学